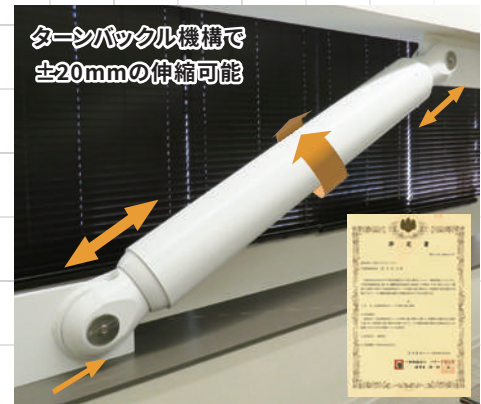
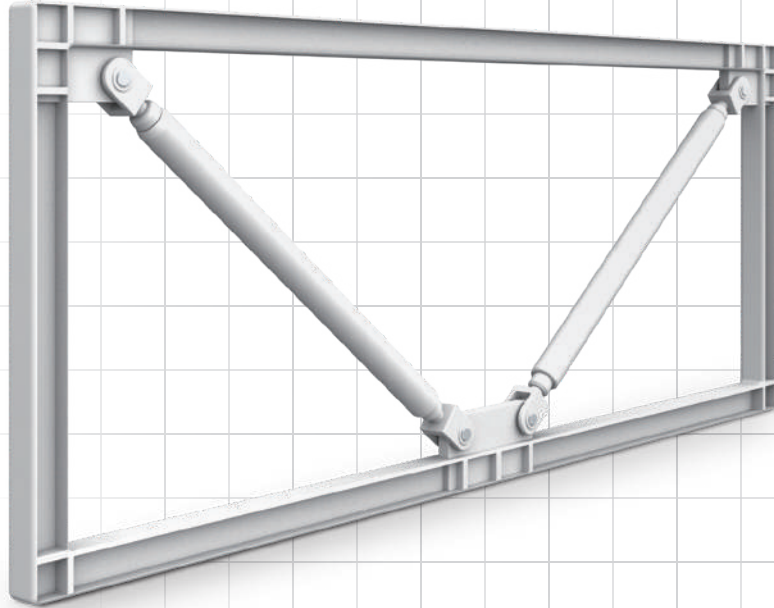


AD Buckling Restrained Brace 座屈拘束ブレース



「一般評定」取得システム
一般財団法人 ベターリビング
CBL SS003-17号

1 軸力を負担する主力管と座屈を拘束する拘束管で構成

2 圧縮耐力は引張耐力と同じ値として設計可能^{※1}

3 ピン間距離を±20mmの範囲で調整でき取付容易^{※2}

4 クレビスはJIS規格の鋳鋼(SCW620)を採用

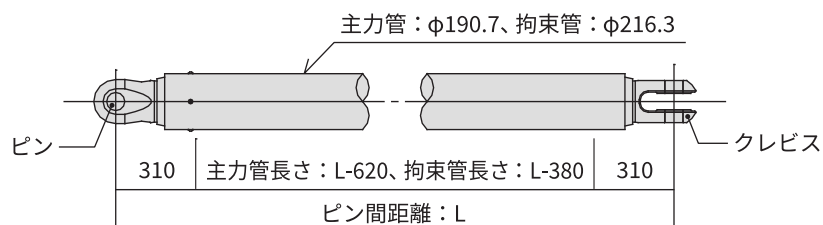
5 ピン(SCM435H)は国土交通省の材料認定を取得

※1...座屈を拘束するため

※2...ターンバックル機構による

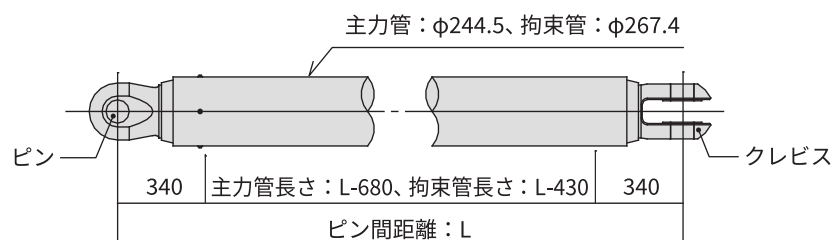
AD座屈拘束ブレース形状標準図

ADW-19 主力管径 $\phi 190.7$ 拘束管径 $\phi 216.3$ ピンシャフト径 $\phi 70$



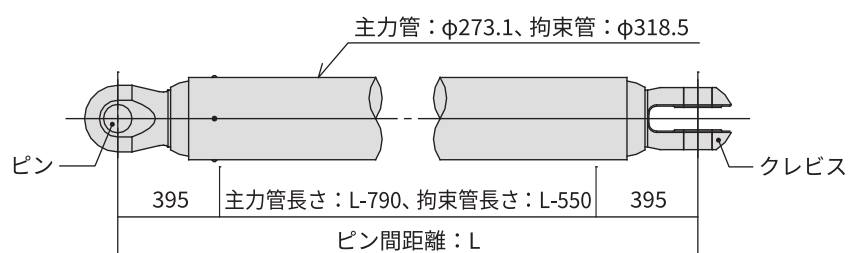
設置例 (外部)

ADW-24 主力管径 $\phi 244.5$ 拘束管径 $\phi 267.4$ ピンシャフト径 $\phi 90$



設置例 (内部)

ADW-27 主力管径 $\phi 273.1$ 拘束管径 $\phi 318.5$ ピンシャフト径 $\phi 110$



実大加力実験

部材表

製品番号	主力管(mm)			拘束管(mm)		圧縮・引張 耐力(kN)	最大ピン間 距離(mm) ^{※1}
	径(mm)	厚さ		径(mm)	厚さ		
		STKN400B	STKM13A		STK400		
ADW-1907	$\phi 190.7$	7	-	$\phi 216.3$	8.2	1,042	5,726
ADW-1908		8	-			1,185	5,261
ADW-1910		10	-			1,465	4,533
ADW-1912		-	12			1,590	4,200
ADW-2410	$\phi 244.5$	10	-	$\phi 267.4$	6.6	1,901	4,860
ADW-2412		12	-			2,261	4,263
ADW-2415		-	15			2,552	3,800
ADW-2712		12	-			2,540	6,000
ADW-2715	$\phi 273.1$	15	-	$\phi 318.5$	10.3	3,138	4,825
ADW-2718		-	18			3,404	4,335

※1 安定限界軸ひずみ： $\epsilon_u=0.21\%$ の場合

実大加力実験によって、ブレース耐力およびクレビス、ピン、ガセットプレートの安全性が確認されており、ガセットプレート部の形状、寸法は標準化されていますので、これを用いることによって検討を省略することができます。主に耐震補強用として用いることを想定しています。

2023-07



株式会社 川金コアテック

営業拠点

川口本社 TEL：048-259-1161
大阪支店 TEL：06-6374-3350

生産拠点

茨城工場
TEL：0296-20-8204



各種お問い合わせはこちらから ▶ <https://kawakinco.jp/contact/>